

取扱説明書 (保証書付)

NDA-202A NDA-402A
NDA-602A NDA-204A



このたびは、車載アンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



△記号は注意(危険・警告)を促す内容であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、販売店などにご連絡ください。



工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



分解／改造はしない

火災の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、販売店などにご連絡ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



運転中に複雑な操作はしない

交通事故やけがの原因となります。



運転の視界や操作を妨げる場所に取り付けない

運転視界を妨げる場所やブレーキペダル付近などに取付、配線すると交通事故の原因となります。



パイプ、タンク、配線などを傷つけない

車体に穴をあけるとときパイプ、タンク、配線などに傷を付けると交通事故や火災の原因となります。



決められたヒューズを使う

規定以外のヒューズを使うと、火災の原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



高温部に設置しない

エンジンルームや温風吹き出し口のそばに設置すると、ケーブルが溶けて、火災の原因となります。



水のかかるところへ設置しない

雨や水のかかるところへ設置すると、火災の原因となることがあります。



振動の多い場所や、不安定な場所に設置しない

ゆるみやはずれで落下し、交通事故やけがの原因となることがあります。



取付ねじはしっかり締める

落下して、交通事故やけがの原因となります。



正しく配線する

取扱説明書の通りに配線しないと、事故や火災の原因となります。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

設置・使用上のご注意

■使用する電源は

- ・ お買い上げいただいたアンプを車に取り付けていただく前に、もう一度アンプと車の電源が合っているか確認してください。各アンプの使用電源は下表のとおりです。

アンプ	NDA-202A	NDA-402A	NDA-602A	NDA-204A
電源	DC12V⊖アース車専用			DC24V⊖アース車専用

■バッテリーの容量は

- ・ バッテリーの容量が不十分ですと出力不足や動作不安定、また自動車の走行不能などの原因になりますので、取付工事は必ず専門業者にご依頼ください。

■雑音が発生する場合は

- ・ 車載用として十分な雑音防止対策を施していますが、もし雑音が入る場合があれば、カーオーディオ、カーラジオなどの雑音防止処理方法に準じてください。

■本機の近傍で携帯電話を使わない

- ・ 本機の近傍で携帯電話を使用しますと、雑音発生の原因になります。本機使用中に携帯電話を使用する場合は充分にご注意ください。

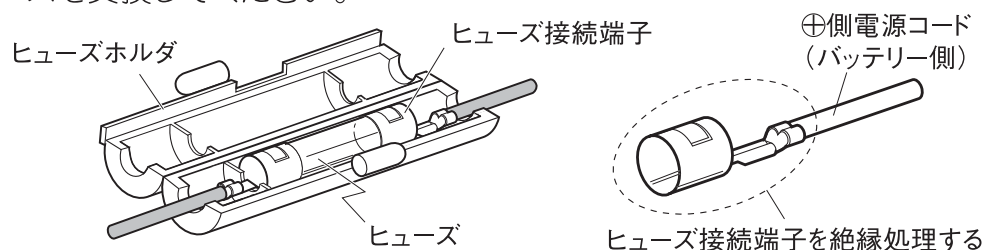
■プラグを抜くときはコードを引っ張らない

- ・ マイクロホンや予備入力のプラグをジャックから抜き取る時は、必ずプラグ本体を持って抜いてください。コードを持って引き抜くと断線やショートの原因になります。

■ヒューズを交換する場合は

- ・ ヒューズを交換するときは、はずしたバッテリー側コードのヒューズ接続端子をショートさせないでください。故障、破損の原因となります。必ず車体などにショートしないような処理をおこなってからヒューズを交換してください。

(右図参照)



マイクロホンの上手な使い方

- マイクロホンを効果的に使うために、特に注意しなければならないのが、ハウリング(キーンと言う音)です。これは、スピーカから出てきた音が、マイクロホンに戻り、音が循環することから起る現象です。これを防止するためには、音源以外の音をとらえにくい単一指向性マイクを使用し、マイクとスピーカの位置に注意しながら使用することで、ハウリングの発生を避けることができます。
- マイクロホンを使用する場合は、極端に口元に近づけたり離したりせずに、なるべく一定の距離で使用してください。この距離は、2～5センチメートルぐらいが理想的です。また、マイクロホンには息をふきかけないように注意して使用してください。
- マイクロホンを手で持ち使用する場合は、マイクの頭を手でにぎらないでください。マイクの頭を手でふさぐと低音だけが強調され、忠実な拡声ができせんので、正しくマイクの中央部をにぎってお使いください。
- マイクロホンを使用しないときは、マイクロホンのトークスイッチを必ず「OFF」にしてください。

各部の名称と説明(前面)

マイク2
音量調節つまみ

マイク1
音量調節つまみ

音質調節つまみ

左方向へまわすと高音が減衰されます。
左まわし切りのスピーチ (SPEECH)
位置では、高音及び低音が減衰され、
アナウンスに最適な明瞭度の高い音
質になります。

電源表示灯

電源が入ると緑色に
点灯します。

電源スイッチ

押すと本機の電源が入
ります。再び押せば電
源が切れます。

マイク1入力ジャック
(-52dBV、600Ω、不平衡)

マイク2入力ジャック
(-52dBV、600Ω、不平衡)

予備入力ジャック

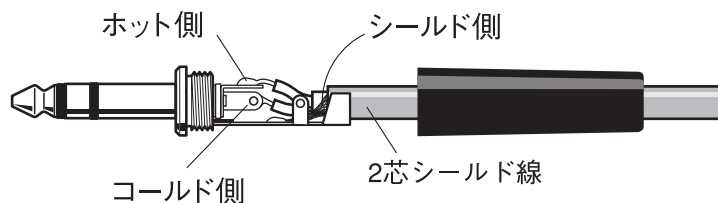
(-22dBV 10kΩ 平衡)
カセットプレーヤやCDプレーヤなどの
ライン出力を接続してください。マイク
とのミキシング放送がおこなえます。

プラグの接続について

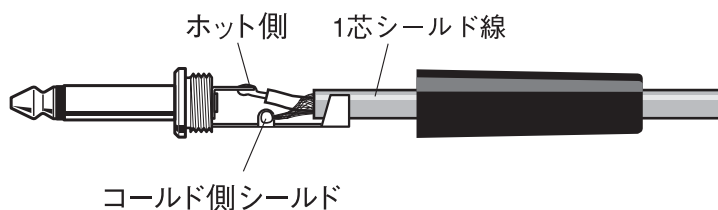
- 予備入力ジャックに外部接続機器を接続する場合は機器の出力方式を確認し、接続プラグを平衡、不平衡のいずれかで接続してください。ステレオ機器の場合はモノラルに切換えるか、L/R両チャンネルを並列に接続してください。(図1参照)

図1 マイク及び予備入力プラグ

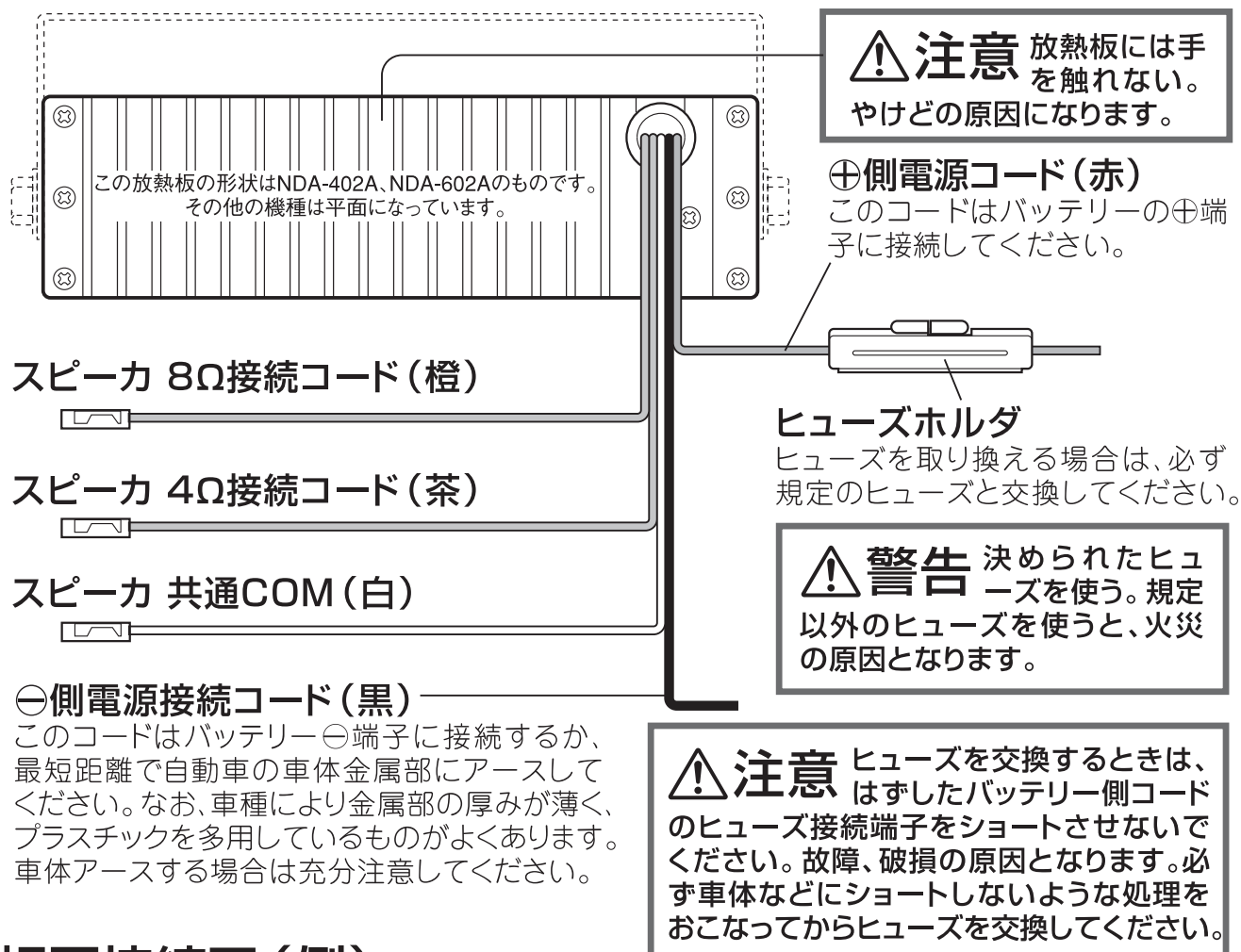
見本
■平衡



■不平衡

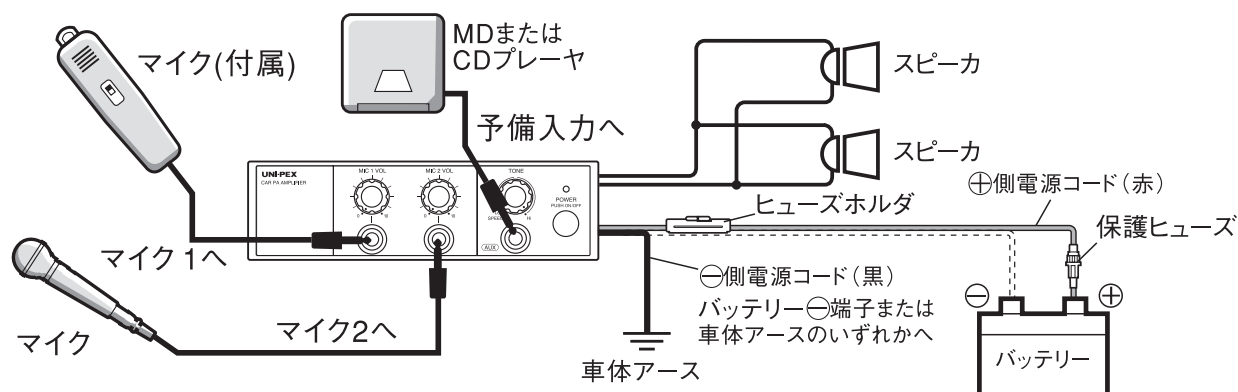


各部の名称と説明(後面)



相互接続図(例)

図 2



ご注意

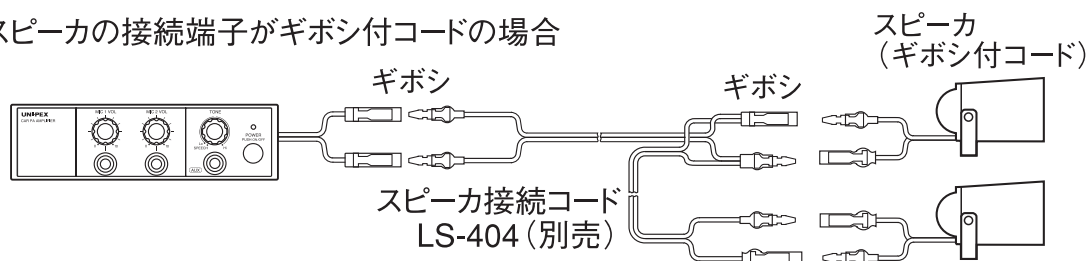
- バッテリーに接続する電源コードは、被覆の損傷などで短絡や車体に接触すると非常に危険です。電源コードの接続、配線には充分ご注意ください。
- バッテリーと機器の接続時には、バッテリーの近傍に保护装置(ヒューズ等)を入れていただくと、より安全性の向上を計ることができます。
- 電源コードは、赤が⊕、黒が⊖です。逆に接続しますと、ヒューズが断線したり故障の原因になります。

スピーカの接続方法

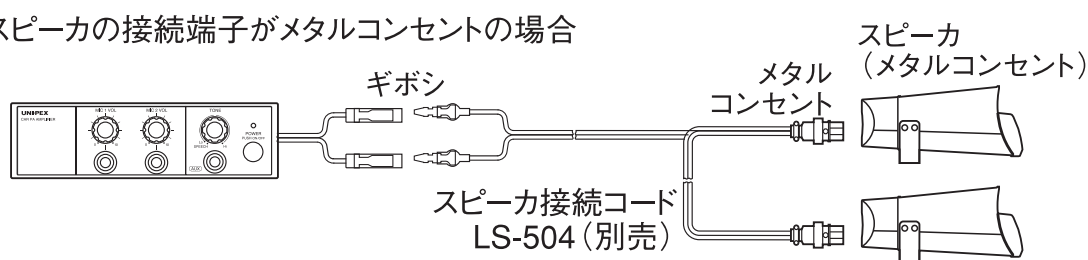
- 本機とスピーカは別売のスピーカ接続コードをお求めいただき接続してください。スピーカの接続端子の種類により使用するスピーカ接続コードは異なりますので、図3を参考にお求めください。スピーカの接続は確実にこなってください。

図 3

■スピーカの接続端子がギボシ付コードの場合



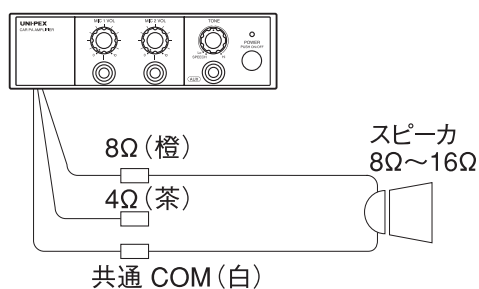
■スピーカの接続端子がメタルコンセントの場合



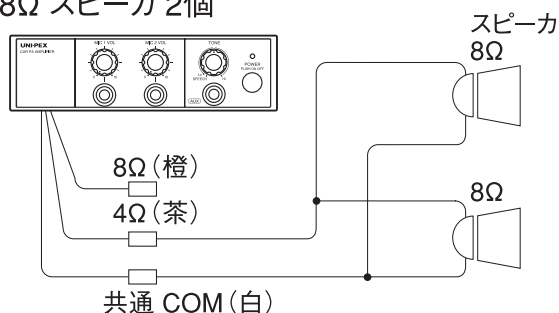
- 接続するスピーカの定格入力、スピーカ1個に加わる入力W数より大きいものを使用してください。インピーダンスの切換えはコネクタ(ギボシ)差替式です。インピーダンスのミスマッチングや誤接続は音質、音量とも不安定になり、故障の原因になります。

図 4 スピーカ接続例

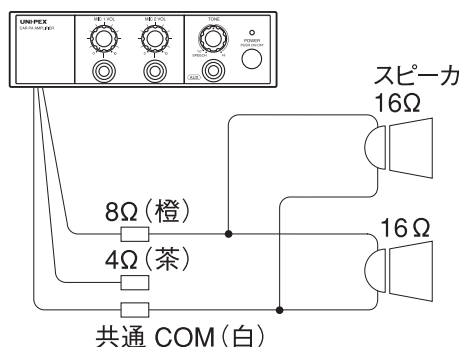
■8Ω～16Ω スピーカ 1個



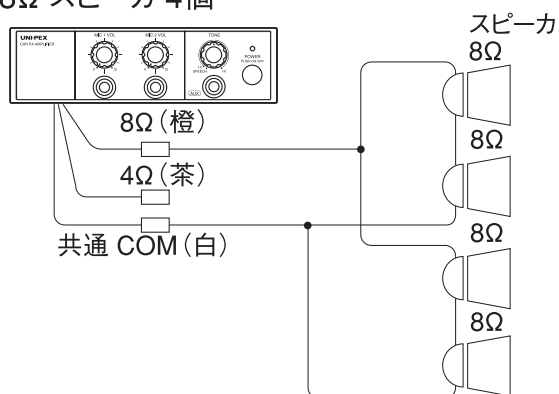
■8Ω スピーカ 2個



■16Ω スピーカ 2個



■8Ω スピーカ 4個

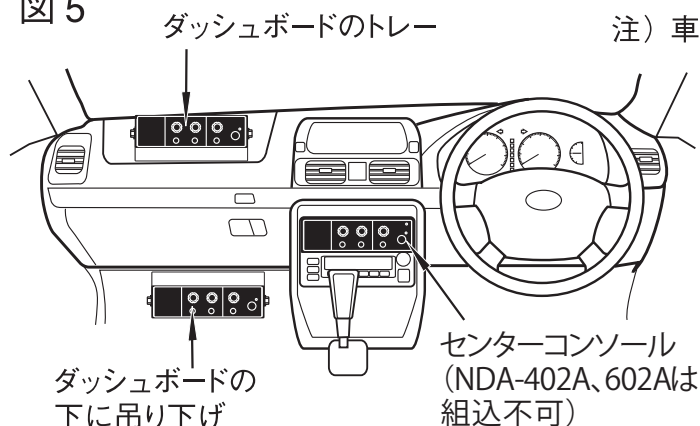


取付方法(例)

- 本機はカーオーディオの標準規格として幅広く採用されているDIN規格サイズです。取付箇所は車種によって異なりますが、図5のようにセンターコンソール内に組み込んだり(NDA-402A、602Aは組込不可)、付属のコの字形金具を利用しダッシュボードのトレーや下部に取り付けてご使用ください。(図5、6、7参照)

注) NDA-402A、602Aはセンターコンソールなど周囲が密閉された空間に設置しないでください。

図 5



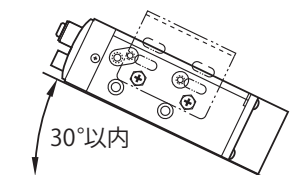
注) 車種により取り付けられない場合があります。

警告 エアバッグ装着車はエアバッグの装着箇所やその付近に配線しない、取り付けない。エアバッグの作動不良による事故や、けがの原因になります。

運転の視界や操作を妨げる場所に取り付けない。運転視界を妨げる場所やブレーキペダル付近などに取付、配線すると交通事故の原因となります。

図 6

注) 必ず、水平から30°以内に取り付けてください。

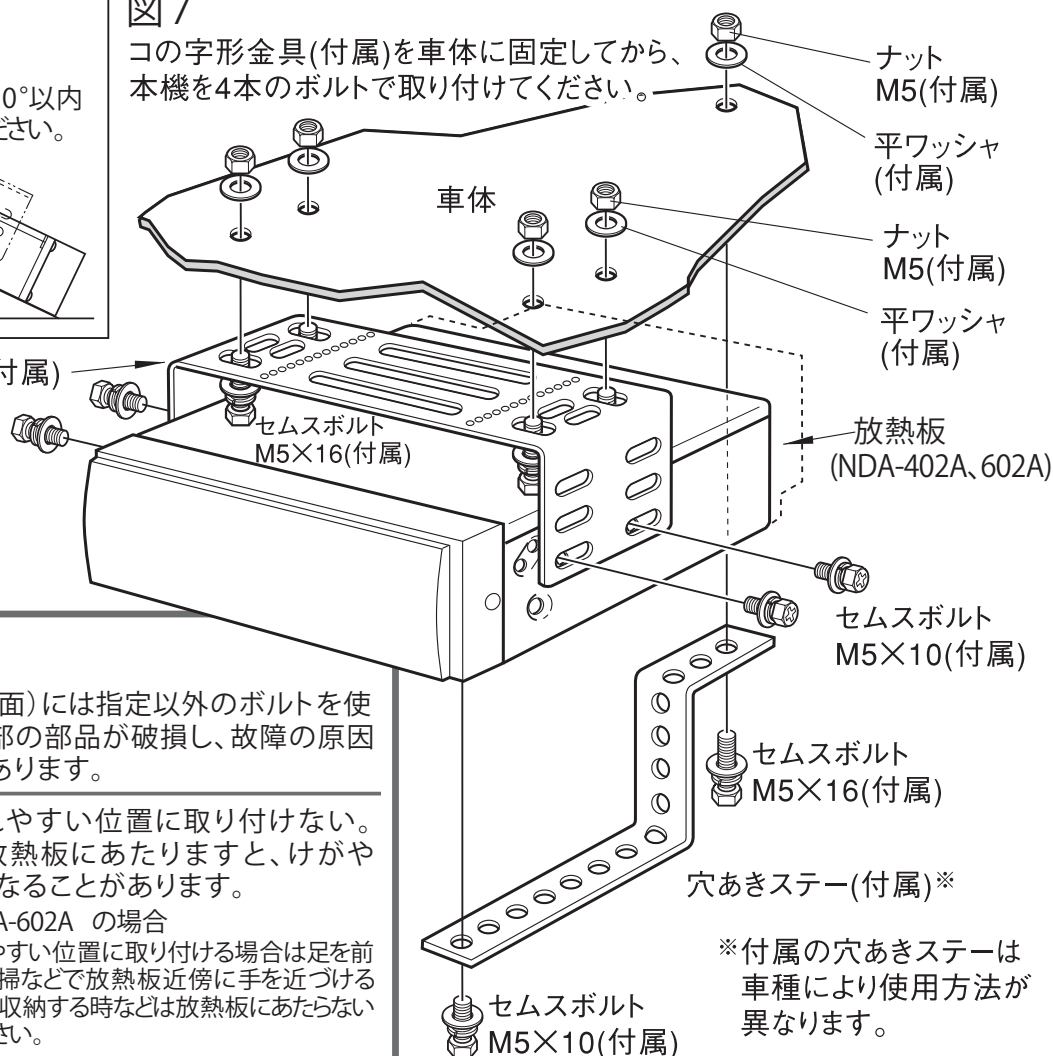


コの字形金具(付属)

セムスボルト
M5×10(付属)

図 7

コの字形金具(付属)を車体に固定してから、本機を4本のボルトで取り付けてください。



注意

本体(側面/底面)には指定以外のボルトを使用しない。内部の部品が破損し、故障の原因となることがあります。

放熱板に触れやすい位置に取り付けない。本機後面の放熱板にあたりますと、けがや破損の原因となることがあります。

○NDA-402A、NDA-602A の場合

- ・やむを得ず触れやすい位置に取り付ける場合は足を前に出したとき、清掃などで放熱板近傍に手を近づける時、手荷物などを収納する時などは放熱板にあたらないようにご注意ください。

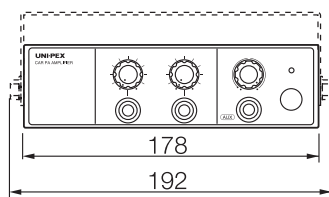
*付属の穴あきステーは車種により使用方法が異なります。

定格

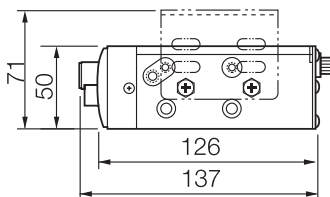
品番	NDA-202A	NDA-402A	NDA-602A	NDA-204A
使用電源	DC10～16V (標準14V) 12Vバッテリー			DC20～32V (標準28V) 24Vバッテリー
消費電流	3A	5.5A	8A	1.5A
定格出力	20W (最大32W)	40W (最大60W)	60W (最大90W)	20W (最大32W)
出力負荷インピーダンス	4Ω/8Ω (チップ式コネクタ〈ギボシ〉による差替方式)			
ひずみ率	5%以下			
周波数特性	250Hz～10kHz ±3dB			
入力感度及びインピーダンス	マイク1、2: -52dBV 600Ω 不平衡 音量調節器付 予備入力: -22dBV 10kΩ 平衡			
信号対雑音比	50dB以上			
音質調節	10kHzにおいて-10dB (1kHz基準)			
動作表示	電源表示:発光ダイオード 緑			
使用温度範囲	-20℃～+60℃			
外形装	パネル (ABS樹脂)、ケース (塗装鋼板) マンセルN1 近似色 ブラック			
外形寸法	幅178mm 高さ50mm 奥行*137mm (*NDA-402A,NDA-602Aは165mm)			
質量	約 1.1 kg	約 1.5 kg	約 1.6 kg	約 1.1 kg
付属品	取扱説明書 (保証書付) 1、営業所一覧表 1、マイクロホン 1、大形単頭平衡プラグ 1、 コの字形取付金具 1、穴あきステー 1、セムスボルト (M5×10) 5、 セムスボルト (M5×16) 5、ナット (M5) 5、平ワッシャ (M5用) 5			
	ヒューズ (5A) 1	ヒューズ (10A) 1	ヒューズ (15A) 1	ヒューズ (3A) 1

■外観寸法図

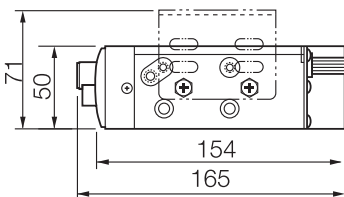
(単位mm)



■NDA-202A,204A



■NDA-402A,602A



車載アンプ NDAシリーズ 保証書

品番		製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部 1 年、ケース (外装部) 6 ヶ月		
お客様	お名前 見 本 様 ご住所 〒 電話 () -		
販売店	店名・住所 印 電話 () -		

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。